中部地方

名前

問1　航空ネットワークにおいて、自転車の車輪の軸のように国内外の多数の路線が集中し、乗客が目的地へ向かうための乗り換え拠点として機能する大規模な空港を何と呼びますか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. ハブ空港
2. 国際貨物ターミナル
3. 地方管理空港
4. 不沈空母

問2　静岡県において製紙・パルプ工業が全国有数の規模にまで発達した理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 三方ヶ原などの台地において、原料となる木材の植林が大規模に行われたため
2. 古くから発達した織物機械の技術を応用し、高度な自動化が進んだため
3. 海外から輸入した木材チップを加工するために、県内に大規模な製鉄所が隣接していたため
4. 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため

問3　愛知県や静岡県を含む東海地方の工業統計において、製造品出荷額の割合が他県に比べて突出して高い「輸送用機械器具」の製造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 自動車の生産を中心としており、多くの部品工場が周辺に集まることで効率的な生産体制が築かれている。
2. 高度な技術を要する電子部品や半導体の製造が中心であり、内陸部のIC付近に工場が集中している。
3. 明治時代から続く繊維工業の伝統を引き継ぎ、現在も衣類や布製品の出荷額が産業の半分以上を占めている。
4. 海外から輸入した鉄鉱石や石炭を加工する製鉄所が沿岸部に集まり、金属製品の出荷額が最大となっている。

問4　中部地方の各県を、山脈やフォッサマグナなどの地形的特徴から分類した際、太平洋側に位置する県や北陸地方の県の中に、県名と県庁所在地の名称が異なるものが含まれます。これに該当する県名と、その県庁所在地の名称を正しく並べたものを選びなさい。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）
2. 長野県（松本市）、岐阜県（大垣市）、静岡県（浜松市）
3. 新潟県（新潟市）、富山県（富山市）、福井県（福井市）
4. 石川県（輪島市）、愛知県（豊田市）、山梨県（富士吉田市）

問5　新潟県の農業産出額の構成において、米の割合が非常に高く、野菜や果実などの割合が低い背景を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）

1. 年間の日照時間が非常に長く、温暖な気候を利用した果樹栽培が農業の中心となっているため。
2. 信濃川などの大河川の下流に広がる越後平野が、日本を代表する米単作地帯となっているため。
3. 広大な山地や原野を利用した畜産業が発達し、米の生産額を上回る収益を上げているため
4. 大消費地である東京に隣接しているため、米よりも鮮度が重視される野菜の生産に特化しているため。

問6　愛知県瀬戸市は陶磁器の産地であるとともに、交通の利便性を活かして他地域とも結びついています。愛知県の中核都市である名古屋市の東側に位置し、群馬県太田市などの北関東方面へ至る高速道路網も整備されているこの地域の地理的特徴として適切なものはどれですか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 県庁所在地から遠く離れた山岳地帯にあり、主に林業と工芸品生産を行っている
2. 内陸部に位置し、良質な粘土資源と高速道路を活用した輸送網を併せ持っている
3. 大規模な貿易港を持つ沿岸部の工業地帯で、重化学工業が中心となっている
4. 知多半島の先端に位置し、漁業と観光業を主な産業としている

問7　中部地方の3つの都市（福井・松本・名古屋）の気候特性について、名古屋市の1月の平均気温が約4.5度と比較的高く、かつ冬の降水量が少ない理由を説明したものとして適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 瀬戸内の気候に属しており、四国山地と中国山地に囲まれているため、年間を通じて温暖で降水量が極端に少ない状態が続くため
2. 日本海側の気候に属しているが、名古屋周辺は対馬海流の影響で気温が下がりにくく、冬でも雪ではなく雨が降るため
3. 太平洋側の気候に属しており、冬は日本海側からの季節風が山脈を越える際に水分を失い、乾燥した晴天の日が多くなるため
4. 中央高地の気候に属しており、内陸部にあるため冬の放射冷却は激しいが、周囲の山脈が低いため太平洋からの湿った空気が入るため

問8　中部地方の3つの都市について、1月の気温と降水量のデータを確認したところ、ある都市では1月の平均気温がマイナス0.5度と低く、1月の降水量も約30mmと非常に少なくなっていました。このような特徴を持つ「内陸の気候」がみられる都市として、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 上越市
2. 金沢市
3. 上田市
4. 浜松市

問9　福井県内の郊外の駅などにおいて、鉄道の利用を促進するために整備されている、自動車から鉄道へ乗り換える仕組みを何と呼びますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. パークアンドライド
2. スマートインターチェンジ
3. モーダルシフト
4. ロードプライシング

問10　新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である
2. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである
3. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている
4. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある

問11　愛知県と岐阜県にまたがり、伊勢湾に面する位置にある平野についての説明として正しいものを選びなさい。この平野は中部地方に位置し、木曽川、長良川、揖斐川という三つの大きな河川の下流に広がっています。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 越後平野
2. 石狩平野
3. 濃尾平野
4. 讃岐平野

問12　日本の諸地域の産業において、気候条件が産業の成立に影響を与えた事例は多く見られます。福井市の気候統計において、冬の降水量が非常に多いという特徴に関連して、この地域で「眼鏡フレーム」などの精密な地場産業が発達した直接的な理由を説明したものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 広大な農地を冬の間に工場用地として転用しやすく、大規模な生産体制を整えることが容易だったため。
2. 冬の低温多湿な環境が、金属を精密に加工する際の温度管理に適していたため。
3. 雪深い地域では人々の移動が制限されるため、村ごとに独自の工業製品を自給自足する必要があったため。
4. 積雪によって冬の農作業ができない時期に、農家の貴重な収入源として副業的な家内工業が推奨されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ハブ空港	多くの路線が一点に集中し、そこから各地へ放射状に伸びる様子を車輪の軸（ハブ）に例えた名称です。効率的な乗り継ぎ（トランジット）を可能にすることで、航空網全体の利便性を高める役割を担っています。
問2	答え 4 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため	製紙・パルプ工業は「立地要因」として水資源の確保が非常に重要視される産業です。富士山のふもとに位置する富士市周辺は、豊富な地下水や河川水が容易に得られたことから、大規模な工場が集まり、静岡県を代表する産業へと成長しました。
問3	答え 1 自動車の生産を中心としており、多くの部品工場が周辺に集まることで効率的な生産体制が築かれている。	東海地方、特に愛知県は自動車産業が非常に盛んであり、完成車メーカーだけでなく、数多くの関連部品工場が集積しています。2014年の統計資料などにおいても、愛知県や静岡県では「輸送用機械器具（自動車など）」が製造品出荷額の大きな割合を占めており、日本の重工業を支える中心地となっています。選択肢にある繊維工業はかつての主要産業ですが、現在は輸送用機械にその座を譲っています。
問4	答え 1 石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）	中部地方で県名と県庁所在地が異なるのは、石川県、愛知県、山梨県の3県です。石川県は金沢市、愛知県は名古屋市、山梨県は甲府市がそれぞれ県庁所在地となっています。選択肢の中にある輪島市、豊田市、松本市などは各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。特に愛知県や山梨県のように、県名そのものが都市名になっていないケースは入試で頻出となります。
問5	答え 2 信濃川などの大河川の下流に広がる越後平野が、日本を代表する米単作地帯となっているため。	新潟県には日本最長の信濃川や阿賀野川が流れ、その下流に広大な越後平野が形成されています。この平野部は古くから大規模な干拓や土地改良が進められ、日本を代表する穀倉地帯として米単作が行われてきました。そのため、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて極めて高いという特徴が生まれています。
問6	答え 2 内陸部に位置し、良質な粘土資源と高速道路を活用した輸送網を併せ持っている	瀬戸市は名古屋市の東側の内陸部に位置しています。古くからの陶土資源を活用した伝統産業に加え、東海環状自動車道などの整備によって、北関東の太田市といった他の工業都市との物流も活発に行われています。
問7	答え 3 太平洋側の気候に属しており、冬は日本海側からの季節風が山脈を越える際に水分を失い、乾燥した晴天の日が多くなるため	名古屋市は太平洋側の気候に属します。冬は北西の季節風が吹きますが、中部地方の険しい山脈を越える際に日本海側に雪を降らせ、水分を失います。山を越えて太平洋側に吹き下ろす風は乾燥しているため、冬の降水量は少なくなり、晴天の日が多くなります。また、低緯度で海に面しているため、1月の平均気温も内陸の松本市などと比べると高くなります。夏季から秋にかけては、季節風や台風の影響で降水量が多くなる傾向があります。
問8	答え 3 上田市	上田市は長野県に位置する内陸の都市です。周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少ない「内陸の気候」の特徴を示します。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、1月の平均気温が氷点下になることもあります。
問9	答え 1 パークアンドライド	自宅から最寄り駅までを自家用車で移動し、駅に隣接した駐車場に停車（パーク）して、そこから公共交通機関（ライド）に乗り換えて都市部などへ向かう交通システムです。地方都市において、過度な自家用車依存を抑え、都市部の渋滞緩和や公共交通の維持、環境負荷の低減を図るために導入されています。
問10	答え 4 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある	北陸地方は日本を代表する米どころであり、特に新潟県などの統計を見ると、耕地面積の大部分を田が占めていることがわかります。具体的には、耕地全体のうち80%以上が田となっており、これは冬の積雪の影響で裏作（冬の間に別の作物を育てること）が難しく、米の単作地帯として発展してきた歴史的・気候的な背景が影響しています。
問11	答え 3 濃尾平野	木曽川・長良川・揖斐川の「木曽三川」が伊勢湾に注ぐ下流域に形成された平野は濃尾平野です。愛知県と岐阜県の広範囲にまたがっており、日本有数の人口密度を誇る名古屋市などの都市が位置しています。越後平野は新潟県、讃岐平野は香川県、石狩平野は北海道にあります。
問12	答え 4 積雪によって冬の農作業ができない時期に、農家の貴重な収入源として副業的な家内工業が推奨されたため。	福井県などの北陸地方は日本海側気候に属し、冬は季節風の影響で雪が多く降ります。農作業ができない冬の間、人々は家の中でできる仕事（家内工業）を副業として行いました。こうした歴史的背景が、手先の器用さや技術の蓄積を生み、眼鏡フレームのような特定の分野で高いシェアを誇る地場産業を育てる土壌となりました。